

「地域みんなで 子どもを見守る南区」運動 が始まっています

今日からあなたも
子どもを見守る一員です

最近の子どもを取り巻く環境には、犯罪や不審者の出没など多くの危険が潜んでいます。これを受け南区内の多くの地域で自ら子どもたちの安全を守ろうという機運が高まっています。

南区では、平成十六年七月に「地域みんなで子どもを見守る南区」を地域と行政の合言葉として宣言しました。



▲区長から各連合町内会長へ腕章が手渡されました

そして地域と連携し、子どもの安全を守る運動を進めるため、パトロール用腕章の支援や、地域の運動の連携・拡大のお手伝いをしています。

この運動は「誰もが今日からでも負担なくできる活動」が中心です。

例えば、

○登下校時に玄関先で見送りや出迎えを行う

○買い物、犬の散歩、庭の手入れなどを登下校の時間帯に合わせ、あいさつや声掛けをする

○通学路周辺の住宅は門灯を早めに点灯する

などです。

子どもに目が行き届いている地域には不審者が現れにくいと言われています。

運動の進め方に決まった形はありません。興味を持たれた方は「やってみよう」と思ったときに気軽に始めてみませんか？

◀新聞などの配達時に腕章を付けている地域もあります



腕章と安全灯が

子どもを見守る藤野地区

「みどり」と花と福祉のまち」を



▲みんな、気をつけて帰ってね

また、藤野緑町内会では「子ども10番の家」をつくり、通学路沿いの住宅の協力のもと、ソーラー式の安全灯とプレートを設置し、子どもを危険な状況から保護する場所を確保しています。町内会長の伊東武一（たけいち）さんは、「腕章を付けて歩いていると子どもたちがあいさつをしてくれます。安全灯を理解して、危険を感じた時にはいつでも駆け込んでください」と話しています。



▲安全灯が子どもを見守る目印です

区内には、腕章を付けたパト